

玉川大学
グローバルCOE
シンポジウム
開催



徹底討論！
社会に生きる人間の心を
脳科学的に解き明かす



上：おおいに盛りあがったパネルディスカッション。
司会の坂上教授(左)は玉川大学グローバルCOEプログラム拠点リーダー
下左：自らのギャンブル体験と文学の必然を語った高橋氏
下中：意思決定脳科学から人の行動を解明してみせた坂井氏
下右：西條氏の取り組む神経経済学は消費活動分析にも応用

9月12日、日本科学未来館において、玉川大学グローバルCOEプログラム主催のシンポジウムが開催された。テーマは「ギャンブル・経済・脳科学」。

高橋源一郎氏(作家)、坂井克之氏(東京大学大学院准教授)、西條辰義氏(大阪大学教授)の3人のパネリストを迎え、本学脳科学研究所の坂上雅道教授が導入講演と司会。人がなぜリスクを伴う行動を選ぶのかを、人間観察、意思決定脳科学、神経経済学の領域からのアプローチで追究した。

脳がどのように「社会に生きる心」を生み出しているのかを、倫理観や経済観なども含めて多角的にとらえようとする試みは、聴衆にもアピールし、最後まで熱心な討論と意見交換が交わされた。